

2019/01/26（土）10時より 於：本校多目的室A

平成30年度 第3回 大阪府立西成高等学校 学校運営協議会

○委員一覧

氏名	職名
榎井 縁	大阪大学 特任准教授
北本 義章	大阪市立鶴見橋中学校 校長
小川 謙一	大阪府立西成高校 PTA 会長
高見 一夫	A' ワーク創造館 館長
田中 俊英	Office ドーナツトーク 代表
堂上 勝己	梅南鋼材株式会社 代表取締役

1. 開会

2. 校長挨拶

3. 議事

(1) 学校教育自己診断生徒アンケート結果について (校長)

- ・学校満足度が高い。
- ・3年生は、成長の実感度が高かった。自尊感情が育ってきた。

(2) 学校経営計画、今年度の取り組みについて (校長)

- ・地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）にエントリーする。地域の課題を解決するコンソーシアムをつくりたい。

(3) 各分掌達成状況報告

- ・学校説明会に来た生徒が、例年より多かった。(広報企画 G)
- ・遅刻に力を入れて取り組んだ結果、遅刻の件数減少。生徒が自分で頑張れるよう、挨拶運動やキャンペーンを実施した。(生徒指導 G)
- ・欠席者が増えたことが課題。(生徒指導 G)
- ・文化祭など、行事を学校全体で楽しむ雰囲気を作ることができた。(生徒会 G)

○報告への質疑

- ・欠席者数が増えている原因は？（委員）

→在籍はしているが、4月から休み続けている1年生が多い。学校とのミスマッチが原因か。

（校長）

- ・フリーターとして働いている卒業生は、どのような雇用形態で働いているのか。

（委員）

→アルバイトが多い。（進路指導部）

- ・卒業生が職場で評判良い、とのことだが、具体的には？（委員）

→遅刻・欠勤があまりない。勤務態度もまじめ。夜のシフトなども、文句言わず入っている、とのこと。（進路指導部・委員）

（4）その他

○質疑応答など

- ・ジェンダーの視点から教育や、学校の分析を行っているか。また、ハラスメント等があった場合の救済システムはあるか。（委員）

→今後の課題。（校長）

- ・セクシャルマイノリティに関して、教員にスキルが必要。生徒に本当に寄り添った視点で考え直す必要があるのではないか。（委員）

- ・生徒と学校のミスマッチの問題にどう対処するか。（委員）

→地域や中学との連携あるのみ。（校長）

- ・学校経営計画及び学校評価で掲げている、「学びと支援の新たな結合による第三の教育」について、理念をより明確にする必要性を感じる。（委員）

- ・働き方改革の問題にもつながるが、教員が明るく気持ちに余裕を持って過ごすことが、生徒との関係にも影響すると思う。（委員）

4. 閉会